

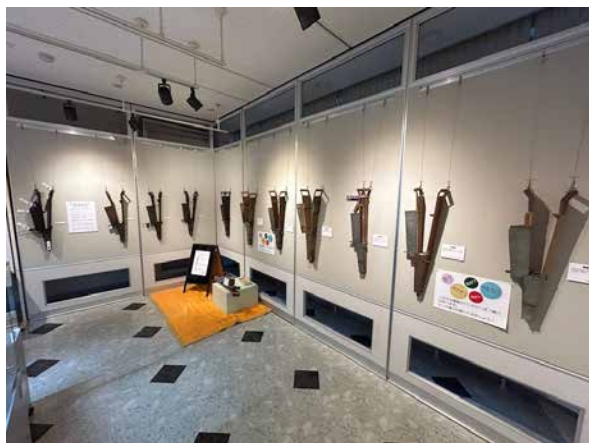
浦幌町立博物館だより

2025(令和7)年8月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



夏の企画展 上田式豆播器の世界



企画展会場に勢揃いした当館所蔵の上田式豆播器



上田式豆播器の鳥口(からすぐち)形状いろいろ。多くの資料があることで明らかになる。

画期的だった上田式

上田式豆播器は、道南の今金町(当時の利別村)で明治時代に開発された、北海道特有の豆播器です。開発者の上田甚作さんの名前をとって「上田式」の名で呼ばれています。

当時、広い畑に腰を屈めて豆を播くのは大変な重労働でした。上田甚作は、立ったまま、一定量の豆を蒔いて歩ける豆播器を考案して特許を取ります。当時画期的だった上田式は、専用の工場で量産されて、たちまち全道へ普及していき、やがてはブラジル移民にまで伝わりました。そして、特許期限が切れた後は、各地で模倣品が盛んに作られます。

バリエーション豊富な上田式と博物館の資料収集

上田式は、全道へ広まっていく過程で、派生系をたくさん産み出します。最初に特許を得たときの形状を基本に、細部にさまざまな変化がうまれていくのです。これは、特許製品を見本に、各地で模倣品が自作されていった過程で産み出されたものと考えています。

博物館では同じような民具をたくさん収蔵している場合があります。一見、同じような民具でも、たくさんの資料を集める事で見えてくることがあります。上田式を通じて、資料収集の意義も知っていただければと願っています。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

パン焼き器



炭火でパンを焼くための道具です。母親がパンを焼いてくれた思い出も、資料と共に大事な情報となりました。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK (注目の本)

図書館から

おまえうまそうだな さよならウマソウ



宮西 達也 作・絵

2023年12月 ポプラ社発行

ティラノサウルスがアンキロサウルス「ウマソウ」と別れてから20年、年老いたティラノサウルスは空腹で倒れてしまいます。

そんな時、とあるアンキロサウルスの親子がティラノサウルスを助けてくれました。

親切にしてくれる、そのアンキロサウルスは…。

ティラノサウルスシリーズの「おまえうまそうだな」から20年後の巡り会いを描く、優しくも切ない物語。

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)

【配架場所】

E/ミ
(絵本コーナー)



8月の博物館お知らせ

企画展

企画展 上田式豆播器の世界

7月26日（土）



9月28日（日）

10:00～18:00

場所:博物館特別展示ホール

後援:道東3管内博物館施設等連絡協議会・
十勝管内博物館学芸職員等協議会



道南の今金町で開発され、全道へ普及した上田式豆播器。北海道中の博物館に収蔵されているにも関わらず、民具や農機の事典にも登場しない、不思議な農機具です。

北海道固有の農機具「上田式」を道内各地から集めて展示するとともに、博物館が同じような民具を多数集めることの意味や課題をご紹介します。

企画展関連シンポジウム

上田式豆播器にみる 民俗資料収集の意義と課題

日時:8月30日（土）

13:30～17:00

場所:博物館2階 視聴覚ホール

入場無料・申し込み不要

講演:上田式豆播器について

講師:山際秀紀（北海道博物館学芸員）

講演:民俗資料収集の課題

講師:宇仁義和（東京農業大学教授）

報告:除籍を含む資料収集基準の制定について

講師:持田 誠（当館学芸員）

上田式豆播器研究の第一人者である山際氏から上田式の特徴や歴史について解説。また、昨今の収蔵庫問題や資料廃棄などの実情を宇仁氏から解説。当館で検討が進んでいる資料収集基準についても紹介します。

移動博物館

オオアワダチソウをどんどん抜くぞ！

8月16日（土） 10:30～12:00

場所:豊北原生花園

集合:浦幌町立博物館（9:30出発）

定員:なし ※



※自家用車の無い方は、博物館へお申し込み下さい。
※お車の方はスコップ、軍手ご持参ください。

もともとは海岸草原になかった外来植物オオアワダチソウを根こそぎ抜き取り、原生花園の植生を保全します。

博物館実習

博物館実習生発表会

日時:8月23日（土）

13:30～14:30

講師:博物館実習生

入場無料・申し込み不要



博物館実習に來ている大学生に、自分の研究や学んでいることを紹介してもらいます。

入館料:無料

開館時間:10:00～18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

8月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日:月曜日・月末資料整理日
8月29日（金）は、月末資料整理
日のために休館します。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です！

【運賃】

帯広～浦幌間 1380円（片道）
釧路～浦幌間 1800円（片道）
4月1日から運賃が改定されました



駐車場無料
帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1（図書館併設・役場となり）
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp